

平成21年1月29日

各 位

上場会社名	株式会社 コメ兵
代表者	代表取締役社長 石原 司郎
(コード番号)	2780)
問合せ先責任者	取締役経営企画部長 鳥田 一利
(TEL)	052-249-5366)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,220	1,685	1,606	961	85.42
今回発表予想(B)	28,400	420	350	222	19.72
増減額(B-A)	△4,820	△1,265	△1,256	△739	———
増減率(%)	△14.5	△75.1	△78.2	△76.9	———
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	32,266	1,800	1,724	1,024	91.04

修正の理由

当事業年度における我が国経済は、第3四半期会計期間以降、米国のサブプライムローン問題を発端として全世界的に景気の減速感が強まり、日本国内においても雇用調整及び消費者心理の悪化等により、個人消費は大きく減退する状況となりました。

当社におきましては、当事業年度において、「コメ兵神戸三宮店」の移転拡張、「コメ兵新宿店」及び名古屋市中区大須地区店舗のフロア構成の見直しを行う等、中古品の仕入及び販売強化に努めました。しかしながら、景気の減速、地金相場の変動及び円高等の影響を受けて、売上高が伸び悩むとともに、宝石・貴金属、高額時計等の商品を中心に販売価格低下が進行し、これまで保有していた在庫については低位な売上高総利益率で販売しなければならない状況となったことから、特に第3四半期会計期間以降は売上高及び売上総利益の確保が難しい状況となりました。

第4四半期会計期間においても、当社業績は引き続き厳しい状況となることが予想されることに加え、主に平成20年10月以前に仕入れた在庫については、上記販売価格の低下により売上高総利益率が低位となっており、早期処分を進めていく必要があることから、通期業績の計画値確保が困難な状況となりました。

以上の結果、当事業年度の通期業績予想を上記の通り修正いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上